

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	横田宏樹
	全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	4158 農業振興対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	010000 農業振興対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
各種農業振興事業を実施し、農業の維持発展を図る。						新型コロナウイルスの影響により、市場価格が下落しても安定的な農業経営ができるように収入保険への支援を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など	①そば収穫用機械製粉機の貸付、②水路の維持管理補助金の交付、③用水確保補助金の交付、④人・農地プランの推進、⑤須高農業振興会議での活動、⑥多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金の推進、⑦長野地域連携協議会への参画など
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	支援制度を利用した耕作放棄地解消面積				
算式	57.5ha（現状値）+年5ha×5年【累計】				単位 ha
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	62.5	67.5	72.5	77.5
	実績				82.5
指標選定の理由	農業従事者の高齢化、担い手の不足、有害鳥獣による農作物被害等による耕作放棄地の拡大を防止する。				
最終年度目標の根拠	2020年度の解消面積57.5を基準とし、2021年度以降毎年約5haの解消を目指す。				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		51,371	57,962
特定財源	国庫支出金	3,314	0
	都道府県支出金	31,759	36,041
	地方債	0	0
	その他	189	130
一般財源		16,109	21,791
人員数(人)	正規職員	1.2	1.6
	嘱託職員	0.8	0.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	8,361.6	11,148.8
	嘱託職員	2,519.2	2,519.2
	臨時職員	0.0	0.0
	計	10,880.8	13,668.0
市民一人当たりの経費		1.2	1.4
総額		62,251.8	71,630.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	49	燃料費49
12節 委託費	87	委託料87
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	51,068	負担金676 補助金10,186 交付金40,206
その他	167	役務費19 償還金148

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	81	燃料費81
12節 委託費	200	果樹セミナー開催委託200
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	54,997	関係機関負担金1,856 補助金6,510 交付金46,631
その他	2,684	報酬1,993 職員手当等319 共済費345,000 旅費27

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農業振興を行う上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	補助金、交付金は各活動の後押しとなっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国、県などの補助事業を積極的に活用し財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
国庫補助等を活用し、補助金の交付を中心に各関係団体や活動組織の活動を支援している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農業振興を図る上で不可欠な事業。 財源は国県の補助事業をできるだけ活用している。</p>		<p>各種支援制度等の活用により、農業振興を図るため必要不可欠な事業である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	